

● 診療科の特色

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は 50 床を有し、新生児病棟の 50 床と併せて 100 床の小児病棟を擁し、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内で唯一、国立成育医療センターを top とする小児総合医療施設協議会に加盟を許されています。

小児科では高度専門医療と救急医療を 2 本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべき体制を 24 時間整えています。年間新入院患者数は一般小児科だけで約 2,000 名であり、救急センターの年間受診者数は時間外選定療養費を徴収しているにも拘らず約 7,000 名で、救急での入院率は 20～30%と非常に高率です。またコロナ禍においては、岡山県の小児重点施設として率先して多くの新生児・小児 COVID-19 患者の診療にあたってきました。専門領域は多岐にわたります。内分泌領域では、成長ホルモン治療患者数は中四国 1 を誇っています。また、岡山市内で唯一小児の透析治療を含む腎不全管理を透析担っています。その他、感染性疾患ではその他小児科一般診療としてアレルギー疾患、神経疾患、代謝疾患等を重点的にカバーしています。心臓疾患に関しては岡山大学から毎週、また小児整形に関しても旭川荘療育医療センターから毎月専門医が派遣されています。従って、臨床研修において、専門性の高い疾患から急性疾患に至るまで、その数、内容共に十分な症例を供給できます。また、教育にも力を入れており、月・水・金に入退院カンファがあり、木曜日には小児外科・新生児科と合同のカンファがあり、ここでは症例発表及びスタッフによる short lecture があります。更に抄読会・輪読会やフィルムカンファなども若手中心に行われています。岡山大学や他大学からの医学生実習も受け入れています。一方、定期的にセミオープンで全国規模の救急研修会や成育研修会を開催しており、また当科主催で、県内若手勤務医のための勉強会も年 2 回開催しています。もう一つ当院の特徴的なものとして臨床研究部の存在があります。当科は成育医療推進研究室に属しており、臨床研究を行うことができると共に、研究予算が得られます。

このように、臨床研修だけでなく、臨床研究に至るまで幅広い研修を受けることが可能です。国立病院機構ネットワークを通じて内地留学や、国外留学制度も取り入れています。

後期研修においては年間約 400 名の新入院症例を有する新生児科と約 800 の手術件数を誇る小児外科における研修も含まれます。

● 入院診療実績

1. 2023 年度 小児科疾患別一覧	ICD-10	患者数	死亡患者数
感染症および寄生虫症	A00-B99	126	0
新生物	C00-D48	31	1
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	20	0
内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90	164	0
精神および行動の障害	F00-F99	13	0
神経系の疾患	G00-G99	102	0
眼および付属器の疾患	H00-H59	4	0
耳および乳様突起の疾患	H60-H95	8	0

循環器系の疾患	I00-I99	10	0
呼吸器系の疾患	J00-J99	500	0
消化器系の疾患	K00-K93	63	1
皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	23	0
筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	88	0
腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	77	0
周産期に発生した病態	P00-P96	18	0
先天性奇形, 変形および染色体異常	Q00-Q99	13	0
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	67	0
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	127	0
原因不明の新たな疾患	U00-U79	41	0
総 計		1,495	2

2. 特殊検査法	症例数	合併症の有無とその内容	死亡退院数
1 心エコー	772	なし	0
2 腎生検	6	なし	0
3 下垂体機能検査	58	なし	0
4 脳波	738	なし	0
5 経口負荷試験(食物アレルギー)	80	なし	0

3. 特殊治療法	症例数	処置合併症とその内容	長期予後
酵素補充療法	13	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅腹膜透析	3	特記事項無し	QOL の向上、延命効果
在宅酸素療法	31	肺 炎	QOL の向上、延命効果
栄養指導療法(外来)	38	特記事項無し	経口摂取制限解除
在宅人工呼吸器	20	特記事項無し	QOL の向上、延命効果

4. 教育・研修	開催頻度		開催頻度
入退院カンファランス	3 回/週	合同カンファランス	1 回/週
部長・医長回診	2 回/週	輪読会	1 回/週
抄読会	1 回/週	レントゲンカンファレンス	1 回/2 週
PALS に準じた多職種シミュレーション	1 回/週	レジデント症例検討会	1 回/2 週

その他

- 1) OMC 小児 Web カンファレンス 開催

● 研究業績

論文

- 1) Namba T, Higuchi Y, Shimizu J
Respiratory pathogen trends in patients with Kawasaki disease during the COVID-19 pandemic and respiratory syncytial virus epidemic in Japan
Pediatr Neonatol, 64, 5, 505-511, 2023, SEP
- 2) Washio K, Tamefusa K, Ochi M, Kanamitsu K, Ishida H, Fujiwara K, Nishida K, Tamai K, Washio Y, Yoshimoto J, Noda T, Tsukahara H
Three Cases of Down Syndrome with Transient Abnormal Myelopoiesis who Underwent Liver Biopsy before Induction of Low-Dose Cytarabine
Acta Med Okayama, 77, 2, 215-220, 2023, APR
- 3) Higuchi Y, Matsumoto N, Fujiwara S, Ebuchi Y, Furujo M, Nakamura K, Kubo T, Yorifuji T
Association between infant breastfeeding practices and timing of peak height velocity: A nationwide longitudinal survey in Japan
Pediatr Res, 94, 5, 1845-1854, 2023, NOV
- 4) Shiwaku T, Ishida H, Tatebe Y, Tamefusa K, Ochi M, Fujiwara K, Kubo T, Nakata E, Washio K, Tsukahara H
A Boy Safely Treated with Tyrosine Kinase Inhibitors for Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia with Osteolysis
Acta Med Okayama, 77, 4, 439-442, 2023, AUG
- 5) Tsuchiyaa H, Shibataa T, Sasakib T, Inouec T, Dateb I, Akiyamaa T, Kobayashia K
Effective Epilepsy Surgery for Post-Traumatic West Syndrome Following Abusive Head Trauma
Acta Med Okayama, 77, 5, 561-566, 2023, OCT
- 6) Tamefusa K, Ochi M, Ishida H, Shiwaku T, Kanamitsu K, Fujiwara K, Tatebe Y, Matsumoto N, Washio K, Tsukahara H
Delayed diagnostic interval and survival outcomes in pediatric leukemia: A single-center, retrospective study
Eur J Haematol, 112, 5, 714-722, 2024, MAY
- 7) Fujiwara S, Harada K, Hagiya H, Koyama T, Hasegawa K, Tsukahara H, Otsuka F
Trends in childhood obesity in Japan: A nationwide observational study from 2012 to 2021
Clin Obes, 14, 2, 2024, APR
- 8) 鷺尾 佳奈, 塩飽 孝宏, 爲房 宏輔, 越智 元春, 石田 悠志, 金光 喜一郎, 藤原 かおり, 塚原 宏一
造血細胞移植後の肝障害の鑑別に MRI が有用であった輸血後鉄過剰症の 2 小児例
日本輸血細胞治療学会誌, 69, 5, 605-609, 2023 年 10 月 1 日
- 9) 古城 真秀子
骨格異常
外来で見つける先天代謝異常症, 190-196, 2023 年 11 月 17 日
- 10) 古城 真秀子
ムコ多糖症 VI 型
先天代謝異常症クリニカルファイル, 433, 2024 年 2 月 27 日

学会発表

- 1) シロリムス内服にて加療した Kaposiform hemangioendothelioma の 1 例
金光 喜一郎
第 122 回日本皮膚科学会総会
2023 年 6 月 1 日
- 2) 先天代謝異常症の子どもたちに教えてもらったこと
古城 真秀子
第 26 回岡山小児医療研究会
2023 年 6 月 4 日

- 3) 成人古典的フェニルケトン尿症患者を対象にした新規治療に対するアンケート調査
古城 真秀子
第 50 回日本マススクリーニング学会学術集会 2023 年 8 月 25 日
- 4) 本邦の小児肥満有病率の10年間の推移～Joinpoint regression を用いた小児肥満トレンド解析～
藤原 進太郎
第 24 回日本内分泌学会中国支部学術集会 2023 年 9 月 2 日
- 5) 多発出血性脳梗塞を呈したが神経学的後遺症なく寛解した T 細胞急性リンパ性白血病の一例
金光 喜一郎
日本血液学会学術集会 85 回 2023 年 10 月 1 日
- 6) コロナ禍で始めた、小児 Web カンファレンスによる地域連携強化の試み
清水 順也
第 75 回国立病院総合医学会 2023 年 10 月 20 日
- 7) シンポジウム「小児救急医療体制」～少子化の中での当院での取り組みも交えて～
清水 順也
第 75 回国立病院総合医学会 2023 年 10 月 21 日
- 8) 高インスリン血症、ダンピング症候群により症候性低血糖を認めたと考えられた歌舞伎症候群の2歳男児
藤原 進太郎
第 56 回小児内分泌学会総会 2023 年 10 月 21 日
- 9) 小児菊池病における血清アルカリフォスファターゼ値の検討
藤原 進太郎
第 75 回中国四国小児科学会 2023 年 10 月 28 日
- 10) 小児菊池病における血清アルカリフォスファターゼ値の検討
藤原 進太郎
第 75 回中国四国小児科学会 2023 年 10 月 28 日～10 月 29 日
- 11) 当科における小児先行的献腎移植症例の検討
高橋 雄介
第 75 回中国四国小児科学会 2023 年 10 月 28 日～10 月 29 日
- 12) ケトン食療法にて尿路結石を生じたピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症の一例
栗林 睦子
第 75 回中国四国小児科学会 2023 年 10 月 28 日～10 月 29 日
- 13) トスフロキサシンによる結晶誘発性腎症の一例
永井 詩織
第 39 回中国四国小児腎臓病学会 2023 年 11 月 19 日
- 14) 当科における小児先行的献腎移植症例の検討
高橋 雄介
第 44 回日本小児腎不全学会学術集会 2023 年 11 月 30 日-12 月 1 日
- 15) トスフロキサシンによる結晶誘発性腎症の一例
永井 詩織
第 44 回日本小児腎不全学会学術集会 2023 年 11 月 30 日-12 月 1 日
- 16) 最近経験した小児クローン病(CD)の 2 例
杉山 啓明
第 96 回日本小児科学会岡山地方会 2023 年 12 月 3 日
- 17) 髄膜炎および敗血症性ショックに至った遅発型 B 群溶結性連鎖球菌(GBS)感染の新生児例

- | | |
|---|------------------|
| 森 茂弘
第 96 回日本小児科学会岡山地方会 | 2023 年 12 月 3 日 |
| 18) ペランパネルの中毒症状として意識障害を呈した Rett 症候群の一例
清水 雄一
第 96 回 日本小児科学会岡山地方会 | 2023 年 12 月 3 日 |
| 19) 先天代謝異常症の子どもたちに教えてもらったこと
古城 真秀子
第 6 回天晴れおかやま女性医師リーダー養成ワークショップ | 2023 年 12 月 10 日 |
| 20) 血清 ALP 値の異常低値例に認められた特徴
藤原 進太郎
第 69 回日本臨床検査医学会中国・四国支部総会
第 164 回日本臨床化学会中国支部例会・総会
第 34 回日本臨床化学会四国支部例会・総会 | 2024 年 2 月 17 日 |
| 21) 難治ネフローゼ症候群の一例
清水 順也
岡山小児腎雑談会 | 2024 年 2 月 28 日 |